

アンコールワット 撮影ワークショップ

2023年7月1.2.3日開催

Workshop in Angkor Wat

★4名以上なら好きな日程でご参加下さい。(7月4日以降)

現地集合 & 解散型
最少催行人数3名 最大10名

日本語ガイド & 写真家による撮影指導 & 小坊主さんモデル撮影

行ってみたい世界遺産No.3位に選出された、クメールの至宝アンコールワットをめぐる撮影ワークショップを開催します！

写真家目線で見つめたフォトジェニックなアンコール遺跡群をご案内

東南アジア最大の湖 トレサップ湖の水上村の夕景をご案内

コッカー遺跡 ベンメリア遺跡等、密林の更なる奥まで



12世紀に栄華を誇ったクメール文明の至宝【アンコール遺跡】は、インドネシアのボロブドール、ミャンマーのバガンと共に世界3大仏教遺跡として知られています。

中でも、アンコールワットを主とする遺跡群は、スケールの大きさや優れた彫刻から世界屈指の世界遺産といえるでしょう。

今回のワークショップでは、アンコール遺跡を過去15回以上訪れた写真家持田あきらと、現地の日本語ガイドとのコラボにより撮影だけではなく遺跡の歴史的な背景も学びながら楽しんで頂くように企画致しました。

尚、一般的にはアンコール遺跡は乾季（11 - 3月）がベストシーズンと言われておりますが、今回は写真家目線として敢えて7月を選んでいきます。

乾季のアンコール遺跡は晴天が続き、観光しやすい季節ではありますが、半面バライ（貯水池）が干上がり、ジャングルの木々は赤茶けて枯れた様相となります。

ツアー開催の7月は雨期とはいえ雨量は少なく、長時間降る事は殆どありません。雨を含んだ木々は青々としバライの水面に映る遺跡群は美しく、撮影に最も適したシーズンといえるでしょう。

7月1日(DAY1) アンコールトム・ワット & タプローム アンコール遺跡王道コース

ホテル→アンコールワット→タプローム→バンテアイクデイ→王宮（昼食）→バイヨン→アンコールワット→プノンバケン

このコースはアンコール遺跡の王道として最も人気のあるルートです。

早朝5時にホテルを出発し、アンコールワットの朝焼けを撮影します。その後樹海に侵食されたタプローム遺跡へと移動。一旦ホテルに戻って朝食後に東バライの遺跡群を経た後に午後の斜光に照らされたアンコールワット内部へ。

アンコールワット見学後、プノンバケンの丘の上から夕景を撮影してホテルへ戻ります。



左/朝焼けのアンコールワット 右/タプローム遺跡

7月2日(DAY2) コーケー遺跡群+ベンメリア遺跡 小坊主さんをモデルにした遺跡撮影

ホテル→ベンメリア→(昼食)→コーケー遺跡→近郊の村→ホテル

このコースは、アンコール遺跡群から北東に90km離れたジャングルの中に佇む遺跡を訪ねます。ピラミッド構造のコーケー遺跡はアンコール遺跡群では珍しい形状です。同じく近くにあるベンメリア遺跡は、ラピュタのモデルとも言われており、ジャングルに侵食された遺跡群は、アンコールのイメージに最もちかい姿を残しています。

この日は、地元の小坊主さんが同行。遺跡の中で可愛い小坊主さんをモデルにした撮影を行います。又、往路では郊外の小さな村に立寄り、田舎の牧歌的な情景を撮影して頂きます。



小坊主さんをモデルに遺跡で撮影 (イメージ)
右/ベンメリア遺跡

7月3日(DAY3) アンコール遺跡東部+バンテアイスレイ クメール美術と湖上村

ホテル→プリアカン→バンテアイプレイ→ニャックボアン→タソム→(昼食)→バンテアイスレイ→トンレサップ湖→ホテル

3日目は、アンコール遺跡北東部とバンテアイスレイを訪問します。

巨大なガルーダのレリーフが必見のプリアカン。ニャックポアンのナーガを見た後は女神像たちが並ぶタソムを訪れます。

昼食後、30km離れたバンテアイスレイへ。此処はアンコール遺跡の中でも最も彫像が美しいと言われており、深く掘られた天女像はアンコール美術を代表し、東洋の至宝とも呼ばれています。

その後シェムリアップ川からボートに乗り、船でトンレサップ湖に向かいます。

インドシナ最大のトンレサップ湖に浮かぶ水上村で撮影後、湖上で広大な夕景をご覧ください。

その後シェムリアップ市内及び空港へ送迎となります。（19時30分頃到着予定）

★バンコク（ドムアン）行き最終 FD619便 21:45発 22:50着



トンレサップ湖の水上村 帰宅途中の子供達

ワークショップ代金 USD500/名 （参加者の合計人数が3又は4名の場合はUSD550となります）

代金に含まれるもの

①ホテル3泊+朝食付き （6月31日チェックイン 7月2日チェックアウト）

7月3日（DAY3）ワークショップ終了後に延泊をご希望の場合、おひとり様+USD30/泊で承ります。

ホテルは2名/部屋となります。おひとりでご参加の方、もしくはシングルご希望の方は+USD90となります。（シングルで延泊ご希望の場合は+USD150）

②旅写真家持田あきらによる撮影指導

アンコール遺跡群での撮影指導、基本的な講義&講評等

小坊主さんをモデルに遺跡でのポートレート撮影等のアレンジメント

③現地日本語ガイドによる説明と専用車による移動

空港送迎及びトンレサップ湖でのボートチャーター代含む

ワークショップ代金は現地にてUSDでお支払い下さい。（円、THB、€でもOK）

代金に含まれないもの

昼食代、夕食代、アンコール遺跡群各種入場料、カンボジアビザ代金、その他ホテル内での有料サービス等

その他料金	料金 (ドル)	ベンメリア&コッケー遺跡は別途合計20USDとなります。
アンコール遺跡群入場料 3日券	62USD	
カンボジア到着ビザ代金	30USD	USD現金のみ別途4×6cmの顔写真が必要

※上の料金は2023年3月時であり、変更する可能性もあるので、ご出発前に改めてご確認ください

※カンボジア入国ビザには、その他e-visaもありますが4,300円と到着ビザよりも高額です。到着ビザの取得には通常10-20分程度を要します。

ホテル

シェムリアップの宿泊には★★★クラスのホテルをご用意致します。

外資系高級ホテルではありませんが、ローカル経営の清潔でリーズナブルなホテルをご用意致します。



※上は前回のワークショップで利用したLanding Gold by Amatak
予約状況等により、他のホテル（同等クラス）になる場合もあります。

ワークショップのお申し込み及び不明点等あればメールでお問い合わせください。

mochidakurohei@gmail.com

旅行保険のご加入のお願い

旅先での事故や病気に備え、必ず各自旅行保険に加入してからご参加頂きますようお願い致します。

滞在中は、できる限り安全を心がけますが、急な環境の変化により体調を崩す方もいらっしゃいます。

現地での病院の手配や、帰国便の変更等、できる限りお手伝いは致しますが、治療費等の負担はできかねますので、予め保険に加入して頂く事で事故や病気に備えて頂きますようお願い致します。

撮影機材及び事前準備について

機材は少なめに！

ワークショップでは、炎天下数キロの距離を歩く事もあるので、できるだけ機材は少なくし、荷物は軽くするようにしましょう。具体的には、広角ズーム1本&標準ズーム1本くらいが良いでしょう。

早朝と夕景以外に三脚を使うケースは殆どありません。場所によってはPLフィルターを使っても良いでしょう。

メモリーカードは事前に確認し、十分な空き容量があるか確認しましょう。

又、予備電池、充電器、カードの予備は事前に十分な確認をして下さい。

事前にカメラの設定を覚える

イザ現地で撮ろうと思っても、使い方が分からない。という方は意外と多くいます。

僕自身、自分のカメラの設定は分かっても、異なるメーカーのカメラの場合は、その場で設定が分からない場合が多々あります。優先モードやISO、露出や測距点、AF-S AF-C切り替え等々、事前にご自分のカメラの基本設定を十分に確認し、事前に練習してから参加するようにしましょう。

特に、サンライズでは暗所で設定するので、三脚の取付等事前に練習しておきましょう。

料理を楽しもう！

アンコール遺跡群の拠点となるシェムリアップは、知る人ぞ知るグルメの町。



植民地時代の影響もあり、シェムリアップでは本格的なフレンチを安価に堪能する事ができます。

町の中には何と大小500以上のレストランがあり、フレンチをはじめ、イタリアン、インド、ベトナム、タイ、中華等々、勿論クメール料理も楽しめます。

特に、カンボジア産の胡椒はフランスでは「赤いダイヤ」と呼ばれ世界最高の胡椒として有名です。

シェムリアップのフレンチやイタリアンでは、この胡椒を用いたステーキなどが人気です。

特に、地鴨を用いたお料理はお勧めです。

又、カンボジアでは、お酒が安くワインや輸入ビールが安価で飲む事ができます。

レストランへのワインの持ち込み料金も2 - 5\$程度なので、好きなワインをスーパーで購入してそのままレストランで飲む事もできます。



ベトナムでお馴染みのバインミーはカンボジアでも一般的。

米粉の入ったフランスパンは体にもよくシェムリアップの街中の至る所で目にします。

日本やタイに比べてはるかに安価に本格的な料理を味わう事ができるシェムリアップは、コスパが素晴らしく、東南アジア屈指のグルメタウンといえるでしょう。

シェムリアップの行き方

バンコクから

バンコクから - シェムリアップ間には1日7便就航しています。

スワンナプーム国際空港からはBangkok Airwaysが3便

ドムアン空港からはAIR-ASIAが4便就航。所要時間は約1時間。片道50-100\$前後です。

日本から

日本からシェムリアップへの直行便は就航していません。

ハノイ経由（ベトナム航空）又はシンガポール経由（シンガポール航空）、バンコク経由が一般的です。

航空券は往復で76,000円～110,000円となります。

フライト検索サイト

<https://www.skyscanner.com/>